

小形軽量化技術の先駆けとなった小型テープレコーダー

| | | | |
|--------------|---|------|-----|
| 登録番号 | 第 00218 号 | | |
| 登録年月日 | 平成28年9月13日 | 登録区分 | 第一種 |
| 名称 (型式等) | コンパクト・カセット式超小型テープレコーダー TC-50 | | |
| 所在地 | 東京都品川区 | | |
| | ソニー歴史資料館 | | |
| 所有者 (管理者) | ソニー株式会社 | | |
| 製作者(社) | ソニー株式会社 | | |
| 製作年 | 1968年 | | |
| 初出年 | 1968年 | | |
| 選定理由 | オープンリール型から出発したテープレコーダーは、性能の改善だけでなく、小型化や使い易さを目指しての開発が続けられた。1960年代の中頃のコンパクト・カセットという新形式の磁気テープの出現は、機器の小型化を大きく進めるきっかけとなった。録音に必須なマイクを内蔵し、かつ片手で操作出来る小型テープレコーダーとして開発された本機は、コンパクト・カセットの特長を最大限に活かした機種であり、その後の音響機器の小型精密化、パーソナル化の出発点になった。 | | |
| 登録基準 | 一ーロ (国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの) 二ーロ (日本経済の発展と国際的地位の向上に一時代を画するような顕著な貢献のあったもの) | | |
| 公開・非公開 | 公開 | | |
| 写 真 |  | | |
| その他参考となるべき事項 | | | |